

紺碧沖繩



第 42 号

編集・発行

社会福祉法人

沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1

TEL 098-884-3173 (代)

FAX 098-882-5688

電子メールアドレス : o.fukusi@muse.ocn.ne.jp ホームページ : <http://www.okinawa-j.jp/>



日課活動「生け花」

養護・特養老人ホーム 具志川厚生園

毎月第二・第四木曜日は利用者が楽しみにしている「生け花」の活動日です。

安慶名恵美子先生を講師に迎え、午後四時半から約一時間剪定バサミの音が訓練室に響きます。

始めに花の名前を説明しながら先生がお手本を示すのですが、我流とばかり豪快に挿す方、あるいは、おぼつかない手付きで職員に手助けしてもらい、恐る恐る挿す方、皆、実に個性的です。中には、ハサミを持つ手付きも鮮やか、先生を唸らせる程の腕前を披露する方もいらっしやいます。

時には扱いづらい花材を前に苦慮することもありますが、挿し終えた後は喜びもひとしお、一様に満足気な表情を浮かべ、お互いの出来栄えに目を細め、辺り一面花の香りと共に和やかな雰囲気漂います。

平成十四年のスタート以来日課活動として定着、園生活に彩りと潤いをもたらしています。

(寮母 上地 たつ子)

平成十六年度 事業及び決算報告

平成十七年五月二十四日(火)、第二回理事会が開かれ、平成十六年度の事業及び決算報告等が認定された。

主な内容は次のとおりである。

一、総括

我が国では、経済社会のあらゆる分野で構造改革が進められる中、福祉の分野も例外ではなく、介護保険における新介護予防事業の創設や障害者福祉の新たな枠組みとなる障害者自立支援法制定の動きなど、日々新たな見直しが進められている状況にあります。

我が社会福祉事業団においては、県から受託している県立福祉施設の譲渡に絡む諸問題や平成十八年四月以降の「指定管理者制度」への対応等、事業団存続に関わる重要事項に鋭意取り組んだ一年となりました。

平成十六年度は、利用者本位のサービス提供の基本となる「沖縄県社会福祉事業団職員倫理綱領」を策定しました。また、介護事故や施設内事故に対応するため「危機管理マニュアル」を作成し、施設現場におけるリスクマネジメントへの意識高揚に努めたほか、調理業務の外部委託化や共同入札の実施、退職者不補充の継続等により、更なる経費削減に努めました。

自主・自立の施設経営に向けた不断的努力を今後とも継続することが重要との認識に立ち、平成十六年度も各種事業を推進しました。

二、主な実施事業

① 理事会を六回開催した。
② 諮問機関として平成十六年六月に評議員会を立ち上げ、四回開催した。

③ 監事監査及び事務局による施設指導監査を実施した。
④ 全施設に苦情解決責任者、同受付担当者及び第三者委員を設置し、適切な苦情相談の実施に努めた。

⑤ 福祉サービスの自己評価を行った。
⑥ 福祉職員としての職業倫理の基本的内容をふまえた規範として「沖縄県社会福祉事業団職員倫理綱領」と各施設においては「行動基準」を定めた。

⑦ 事業団のホームページを開設し、各施設の基本情報や法人の財務諸表等の情報を開示した。
⑧ リスクマネジメント(危機管理)体制確立を引き続き推進し、本年度は「危機管理マニュアル」を作成した。

⑨ 県計上予算にて具志川厚生園・よみたん救護園・漲水学園・あけぼの学園の修築・修繕工事を行った。
⑩ 具志川厚生園調理業務を外部委託し、事業の効率化を引き続き推進した。

⑪ 経費節減および事務合理化のため、共同入札を引き続き実施した。

※「決算報告」は左表

今後の事業団経営への提言

人事・教育研究所 オアシス^{セブン}
所長 下 地 恵 昇



今後の事業団の健全経営化に向けて、事業団として今取り組むことは何か。考えの一端を申し述べ、

提言として事業団全組織・全職員の討議・実践の一助になれば幸いです。

1. 現状の把握と共有化

● 事業団を取り巻く環境は、外部環境として、財政・規制の改革や制度の導入、競合施設の新規参入などが経営に与える影響を分担・把握し、対応を検討します。

● 内部環境として、職員の経営意識の問題(現在の経営状況と問題の把握やコスト意識、リスクマネジメント意識、品質意識、安全意識など)に対する指導・育成を検討します。

● 利用者が、施設を選択する際、満足なサービスや仕事を提供できる職員の意識やスキルは何か。その改善能力や人材育成策を検討します。

以上について、全職員の英知を結集し、共有化して、計画的かつ継続的な実践の展開が重要だと思慮します。

2. 検討結果の実施(対策)と確認

● 現状を把握し、対応を検討(対策)しても、それらが実施されなければ、何の意味ももたないのであり、確実な実施が必要であります。特に、トップや管理者によるリーダーシップの発揮が要求されます。

● 対策を確実に実施したら、その効果をしっかりと確認することです。なぜなら、確認なしでは、対策が改善(経営改善や問題改善)されたのかどうか分からない。また、対策が適正だったか、現状の把握や問題点に対する原因が正しかったのか点検する必要があるからです。

● 次に、改善効果が確認できたら、その対応を標準化し、教育・訓練して現場に定着させることと、定着しているかどうかを全職員が自覚して管理し、次の改善に活かすことです。

以上、マネジメントサイクルに沿って、考えを申し述べました。これをもとに経営理念・中長期方針と計画、単年度経営方針と計画・目標について全職員がこれを共有する。この経営のサイクルを職員全員が各自の各組織の中で経営手法・問題解決の手法・人材育成の手段として実施します。その結果として利用者の満足度向上、事業団の経営改善、職員の成長が期待できます。

資金収支計算書

(自)平成16年4月1日(至)平成17年3月31日

第1号様式

(単位:円)

Table with columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異, 備考. Rows include 経常活動による収支, 施設整備等による収支, 財務活動による収支.

(注) 予備費の科目は当該科目に振替えて記載する。

事業活動収支計算書

(自)平成16年4月1日(至)平成17年3月31日

第3号様式

(単位:円)

Table with columns: 勘定科目, 本年度決算, 前年度決算, 増減. Rows include 事業活動収入の部, 事業活動支出の部, 特別収入の部, 繰越活動収支差額の部.

脚注 積立金取崩しのうち、円は、の支出に当るために、積立金の目的外取崩しである。

貸借対照表

平成17年3月31日現在

財産目録

(自)平成16年4月1日(至)平成17年3月31日

第5号様式

(単位:円)

Table with columns: 資産の部, 負債の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 基本財産, 負債, 純資産.

脚注 1. 減価償却費の累計額 32,813,823円 2. 徴収不能引当金の額 0円

第6号様式

(単位:円)

Table with columns: 資産・負債の内訳, 金額. Rows include 1. 流動資産, 2. 固定資産, 負債の部.

平成十七年度 事業計画

我が国では、少子高齢社会の進展、福祉に対する国民の要求が複雑・多様化する一方、国・地方公共団体ともに財政状況が逼迫し、より効率的な福祉サービス提供の模索を迫られ、介護保険制度、支援費制度についても更なる見直しがなされている状況にあります。

我が国社会福祉事業団におきましてもこれまで以上に厳しい局面を迎えました。県より受託の福祉施設譲渡に絡む諸問題、平成十八年四月以降の「指定管理者制度」への対応等、事業団存続に関わる重要事項に対し、的確に判断・対応する必要があります。

事業団としても、更なる経営努力、サービスの質の向上に取り組む指標として「沖縄県社会福祉事業団経営改革基本計画」（平成十六年三月）を策定したところですが、今後の受託施設の取扱いや事業団の在り方について、県との調整を現在もおこなっているところであり、計画の円滑な実施には至っていない現状にあります。

これまで培ってきた経験と技術を生かし、「今後とも施設経営をおこないたい」との意志は、役職員の総意です。自主・自立の施設経営に向けた不断の努力を今後とも継続していくことが重要との認識に立ち、平成十七年度も各種事業を推進していきます。

【基本目標】

利用者本位のサービスの質の向上
経営基盤の強化と経営の効率化
職員の資質の向上と意識改革

以上の基本方針に基づき平成十七年度は、次に掲げる重点事項を柱に諸事業を推進します。

【重点事項】

- 一、事業団経営改革基本計画に基づく実施計画の推進
- 二、利用者本位の福祉サービスの充実
福祉サービスに関する苦情解決体制、福祉サービスの自己評価及び第三者評価への対応、職員倫理綱領の適正な運用等
- 三、経営基盤の強化
理事会・評議員会の更なる活性化、監事監査、法人及び事業の情報公開、
リスクマネジメントの実践、在宅福祉事業の充実等
- 四、施設経営の効率化
事務事業の効率化、福祉QCCサークル活動の推進、共同入札の実施
- 五、職員の資質の向上と意識改革
事業団経営連絡会議や自主経営会計担当者会議の立ち上げ、職員研修を職種別研修や自主研修制度に移行
- 六、広報活動の推進及び関係機関との連携強化

施設長就任にあたって

北嶺学園

園長 金城 正まさかず 一



社会福祉事業団の方
向性がどうなるか、十
八年度以降の自主運営
に向け、厳しい時代の

中で、四月一日付けで北嶺学園長に命じられ、その職責の重大さに身の引きまじる思いです。十二年ぶりに戻ってきた園は、広々とした緑豊かな敷地に機能的な明るい施設に改築され、また利用者の素朴で人なつこい笑顔が着任間もない緊張感を和らげてくれました。

社会福祉基礎構造改革の推進により、平成十五年度に、従来の措置制度から支援費支給制度が導入され、福祉を取り巻く環境も大きく変化している。就任してなれない業務に少々戸惑いも覚えますが、幸いに、支援サービスの実践を担う各職員が日夜熱意をもって利用者処遇の向上に努めており、心強さを感じます。今後ますます施設運営の困難が予想されますが、事業団譲渡問題の県施策に押し流されることなく、職員一丸となって将来性豊かな施設運営を目指して邁進したいと思っておりますので、関係各位のご指導とご協力をお願い致します。

具志川厚生園

園長 大嶺 利昭



樹齡を感じさせる
ヒンブンのガジマ
ル、野鳥のさえずり
と若夏の新緑の息吹、毎朝爽やかな涼風が頬に心地よい。

なによりも職員が利用者処遇に日夜心身を傾注していることに心を強くしている。

諸先輩の努力により円滑に施設が運営されていることに感謝すると同時に、現状を踏まえつつ多種多様な福祉ニーズに対応しうる施設運営をより一層推し進め、風通しの良い職場作りをモットーに励みたいと考えている。

今、事業団は大きな変革期でその存続が重大な命題となっている。

これまでの実績と経験を糧に職員と共に知恵を出し合い、志を一つにして前進したい。

今後とも皆様のご指導ご協力よろしくお願い致します。

施設長就任にあたって

宮古厚生園
園長

平 良 洋 ひろ じ

四月の人事異動から

一ヶ月余、日々の業務

において職責の重さを

ひしひしと感じているしだいです。



介護保険制度が実施されて、五年が経過し、今年度より保険制度の見直しにより利用者負担の増、予防介護の重視等々老人福祉環境は厳しい状況にあります。如何なる環境においても施設利用者へのサービスを最優先とした安全で安心できる施設を目指し、その達成のための職場環境を整え、職員が明るく動きやすい職場づくり、人材育成に努めたいと思います。

幸い気心の知れた有能なスタッフに恵まれており、これらの力を結集し一丸となり施設のモットーである「みんな（利用者）のためにみんな（利用者と職員）でつくりみんな（職員）で支える園生活」に叶った施設運営に努めるつもりですので、皆様の「ご指導」ご協力をよろしくお願い致します。

【施設だより】

ミニレクリエーション大会について

養護・特養老人ホーム 八重山厚生園
相談員 奥 間 安 洋



レクを通し心身をリフレッシュし、健康の保持と増進を図り、明日への活力と鋭気が養えることを目的に五月十六日にミニレクリエーション大会を実施しました。競技プログラムは、ラジオ体操・ボール運び競争・釣り天狗・スポーツフープ転がし競争・玉入れ競争・職員対抗の車椅子乗り競争・ストレッチ体操が行われました。レクの競技中、利用者の笑顔と笑い声が多目的ホール中に広がり大変盛況の内に競技を終える事が出来ました。最後に職員の生の三味線の演奏で全員が一緒にモーヤー（踊り）をして楽しんでみながらミニレクリエーション大会を無事に終える事が出来ました。

浜下り

児童養護・知的障害児施設 漲水学園
児童指導員 下 地 龍一郎



去る四月十日、四十一名の児童と十三名の職員、総勢五十四名で城辺町の東平安名崎で浜下りをしました。当日はお昼前に現地に着き、弁当を食べた後に各グループに分かれて活動しました。釣りをしたり、泳いだり、砂浜を散策しながら貝拾いなどをして、子ども達は楽しく過ごしたり、子ども達は楽しく過ごしたり、浜辺のあちらこちらから「魚を釣ったよ」「いっぱい泳いだよ」「かわい貝殻を見つけたよ」等、子ども達の喜びの声があがり、笑顔がたくさん見られました。特に水泳グループでは、幼児から高校生までが一緒にあって、帰りの時間も忘れて泳いだり潜ったりして海を満喫している姿が印象的でした。天気にも恵まれケガもなく、皆が楽しく過ごす事ができ、大成功の浜下りでした。

楽しかった園遊会

養護・特養老人ホーム 宮古厚生園
寮母 長 濱 祐子



初夏の心地良い風が吹く中、恒例の養護園遊会が行われました。大型バスに揺られ元気に歌を歌いながら、上野村ドイツ文化村に到着。「広いネー」「芝生がまぶしー」「うまぬどうドイツなあー（ここがドイツかぁー）」賑やかに会話も飛び交い、職員と一緒に散策を楽しみました。きれいな景色を眺めながら頂くお弁当は最高さぁーと、あつという間に完食され満足した様子でした。そして、楽しみのグラウンドゴルフ。なにしる景品がカップラーメンとあって皆さんの表情は宮里藍さんに負けない真剣さ。ねらいすぎてボールは右へ左へ、歓声とため息と笑い声が終始響き渡り楽しい一日を過ごしました。園に到着する頃、皆さんの顔がうっすらと日焼け顔に。又、来年も元気で行くことを約束しました。

【利用者のごえ】

名護厚生園 上原サノ



私は平成元年、秋田から沖縄に居る娘の所に来ましたが淋しくて病気になるほど

生園に入所させて頂く事になりました。寮父母、看護師さん沢山の皆様のおかげで今はとても幸せです。おじいちゃん、おばあちゃん達も色々な人がいるので楽しい暮らしができると思います。

「去られる方々へ自作の花に添えて贈ることば」。この花は、おじいちゃん、おばあちゃん方の心をあらわしたお花です。花びらの一枚目は思いやりの心、花びらの二枚目は感謝の心、花びらの三枚目は健康で明るい心、三つの心を一つにして花にしました。人間の性格はみな違います。性格を色であらわしてみました。それぞれ色の違いのある花を心をこめて仲よく一つにしました。なんと美しいではありませんか。花の名前は幸せを呼ぶラッキーセブンとつけました。いつまでも可愛がつて下さい、厚生園で生まれた花です。忘れないでください。色々とお世話になりました。誠にありがとうございます。御苦労様でした。

楽しかった親子ピクニック

あけぼの学園 大城勝彦

すばらしい天候にめぐまれ楽しい親子ピクニックが五月十八日に行なわれました。大型バスに乗り東平安名崎に行きました。僕のお父さんは、朝早く学園に来てくれました。とても嬉しかったです。

バスの中ではお父さんの側に座りいろんなところを観光しながらいっぱいお父さんと話をすることが出来ました。カラオケもしてとても楽しかったです。一番嬉しかったことは東平安名崎での昼食時でした。僕の為に父さんが手作り弁当を持ってきたことです。僕は父さんと一緒に全部食べました。

午後からはお父さんと一緒にグラウンドゴルフや輪投げをしたりゲームを楽しみました。その後、一生懸命作った手作りのカーネーションをお父さんにプレゼントしました。

また来年もお父さんと一緒にピクニックに参加できたらいいなと思います。



【地域交流】

魅川憲一郎・瀬川瑛理子さんの慰問

よみたん救護園 寮母 照屋 マリ江

平成十四年の慰問交流がきっかけで、利用者からの要望により、去った四月十二日に物まねタレントの魅川憲一郎さんが再訪問され利用者との再会を果たされました。

本物かとびっくりする程そっくりで歌まねもさることながら、ユーモアたっぷりに絶妙なトークで利用者を楽しませてくれました。

今回は、魅川さんの好意で友人の瀬川瑛理子さんも共演してくださいました。利用者の間では男？女？と首を傾けながら、利用者同士で確認し合う場面が、所々で見受けられ美しさにうっとりしながら歌を聞いていました。

これまでの慰問・交流等には、集まりが遅い方々も、早めに食堂の前列に陣取り、二人のショーに釘付けとなり、また冗談交じりのトークに笑いの渦が巻き起こる程、誰もが満足する慰問交流となりました。

魅川憲一郎さん、瀬川瑛理子さんお忙しい中、本当に有難うございました。



地域ボランティア交流会

具志川厚生園 保護課長 小嶺 美佐子

当園では、地域に開かれた施設づくりを目指し、日頃から大勢のボランティアが園内を訪れ、食事介助・外出・行事等に参加し利用者との交流を深めています。

去った三月五日に、平成十六年度の慰労を兼ねたボランティア交流会を計画し参加を呼びかけたところ、地域の天願老人会・婦人会をはじめ、各種団体・苦情解決第三者委員・実習受け入れ先の高校生や専門学校生等総勢八十一名の方々が来園され、利用者、職員共々楽しいひとときを過ごし交流を深めました。

前日からのあいにくの雨天で計画していたグラウンドゴルフが実施出来ないため、予定を室内での交流会に切り替え、十八番大会を行いますとの連絡に、歌・三味線・踊り・フラダンスと自慢の余興を引っさげて、会場狭しと熱気で溢れました。ボランティア団体の自己紹介では、それぞれの団体の活動状況をよく知る機会となり、また当園の状況を更に理解していただくことが出来たのではないかと思います。気がつけば世代間交流にもなりました。よいことづくめで雨天に感謝の交流会となりました。



【随筆】史跡を訪ねて

殉教のキリシタン石垣永将の墓と燹刑の地

八重山厚生園

園長 島 尻 義 政



本園の正門の西に御嶽を思わせる樹木の茂みがある。小鳥のさえずりが聞こえる静かな場所だ。こ

は殉教のキリシタン石垣永将の墓といわれ神々しい聖域である。身近な史跡でありながら、職員も利用者も当史跡について口にする事はない。一般人の出入りもほとんどなく普段ひっそりしている。

墓への進入路には案内板が立ち、細道を上って行くと「永将(翁)」の遺徳を讃えて頌徳碑が建っている。墓は唐破風とよばれる石造りで、入り口はアーチ式の石門。墓の周囲は二重の石垣塀で囲まれ墓庭が広く、辺り一帯に荘重な雰囲気漂う。旧十六日祭には永将一門がこの地に集まる。

さて、資料によれば永将は十七世紀初頭八重山の最高官「頭」の職を務めた要人であるが、当時国禁であったキリスト教を信仰したとして薩摩、首里王府の命により焚刑に処せられた(一六二四年)。キリスト教禁令下の琉球最初の殉教者といわれる。処刑の場所は本園より東方四キロ程離れた市街地にあり、「本宮良の主(石垣永将)」の

御嶽) 或いは「オンナー」とも呼ばれる。永将は焚刑に際し「フウヌダキアヨウ」という題で辞世の句を詠い恐れることなく平然と死に就いたと伝えられる。当地には「八重山キリシタン殉教の地」の石碑が建つ。旧暦の九月九日の「重陽の節」には一門がこの地に集い供養を行う。一門は当地を石垣市の史跡公園に指定するよう要請したが実現していない。

近年、石垣島の観光地や公園では石碑の建立が目立つ。パンナ岳麓の公園には「石碑の森」がある。

散策がてら近隣の石碑を訪れ、碑の由来や歴史に触れるのも一興だ。

つい最近、新栄公園で平和を祈り憲法九条(戦争放棄)の石碑が建った。思うらくは、永将焚刑の地「オンナー」に憲法二十条(信教の自由)の碑を建て自由の尊さを刻めば永将翁もきっと喜ぶであろうと空想が広がる。

今年、パチカンで新法王が即位した。この節目の年、身近な永将史跡めぐりは、郷土のキリシタン受難の歴史に更なる想いを馳せる。

ところで、郷土史家の間では永将の墓の所在地に異説を唱える者もおり詳細は今後の研究に待たれる。

ちなみに市内には石垣永将研究会がある。終わりに、本園へお越しの際は、傍らの永将史跡を訪れ当地域の歴史に触れてはいかがでしょう。

かたらい広場

うるま婦人寮

生活指導員

上 間 由 美 子



私が、初めてうるま婦人寮を訪れたのは二年前の大学三年の夏休み期間中の現場実習でした。実習

中は利用者の日課に参加し土日は児童との関わりを持つ機会が多かったです。その時、家庭の事情で母親と入所してくる同伴児の多さにとっても驚きました。以前から子供が好きで福祉分野の中でも児童に関わる就職を希望していたので、うるま婦人寮に採用が決まり、とても嬉しく思います。

就職して一ヶ月が経過し、ようやく利用者の名前を間違えずに呼ぶようにもなり、利用者のみなさんや職員の方々にも恵まれ充実した日々を過ごしています。覚えることが多々あり毎日が学びの場であります。ベテラン先輩方の指導を受けながら利用者にとってよい支援ができればと日々考えています。微力な私ですが、今後ともよろしくお願ひします。

所信(初心)表明

事務局 崎 原 盛 俊



私は市町村史の編さん・パソコン利用施設管理の仕事を経て、福祉職に従事したいと一念発起し、

この四月より嘱託員として採用されました。何もかもが初めての職場であるため、初心者ながら、自身で少しでも専門的見識を深めようと過日沖繩大学で開かれた「かりゆし地域福祉実践セミナー」を受講しました。

セミナーでは自立生活支援に向けての地域実践手法(コミュニティ・ソーシャルワーク)をテーマとし、講義と演習(ワークシヨップ)が行われました。初心者の私にとっては、かなり難易度の高い研修内容でしたが、この研修を通じて福祉サービスはあくまで家族や地域も含めた「利用者本位」を基本とし、その提供までに利用者・関係者との対話による「意志疎通」を重ねることが最も大事であると知りました。

「利用者本位」と「意志疎通」を意識して日常業務の中でどんなサービスや提案ができるか日々模索し、行動しその中からまた問題点を見つけたし、模索する。この積み重ねが利用者の要求・欲求に適切に応える糸口になり、福祉職従事者の存在意義を高める事にもつながるのだろう。私はこのセミナーを通じてそう思いました。

とはいえ、「言うは易し」で、なかなか難しいことだし、想像だにしない困難もあるかと思ひます。しかし、私は福祉職員の端くれとしてこれから先述のことを念頭に利用者が望むこと、自分に何が出来るかを常に模索しつつ、提案や行動をしていきたいです。



私の履歴書〜一葉の写真とともに〜

具志川厚生園(養護) 屋比久 ふみ



私は、大正十三(一九二四)年四月十四日にフイリピンで生まれまし...

終戦後、私は佐敷馬天の軍将校宅で働くのを皮切りに、浦添牧港・北谷桑江のラン...

という未亡人*3の住み込みメイドとして雇われました。私を紹介してくれた「オカダ...

ミセス・イツキースのお宅は映画「風と共に去りぬ」にてくるような立派な屋敷で、庭...



中央が私、左から姉、義兄、姪夫婦です。姉が抱えているのは姪の子です。

所・シャンデリアなどの掃除、ベッドメイキング、家具のワックスがけ)...

私はアメリカに行くまでは何事にも消極的で依頼心が強かったのですが、渡米して...

- * 1 Mess Hall: 兵員食堂
* 2 Post exchange の略: 基地内売店
* 3 夫はフランクリン・ルーズベルト大統領政権下の政務官だったと聞いています。(ふみさん談)

※この記事は事務局の崎原が、屋比久ふみさんとのインタビューで本人の話を意図を汲み形で文にまとめたものです

事務局通信

☆☆ 人事 ☆☆

- 異動(四月一日)
事務局 主査・石川俊雄(具志川厚生園)
主査・仲里 功(昇任)
▲沖繩療育園 副園長兼管理部長兼庶務課長・根間武男(よみたん救護園)...

- 指導員) 主任看護士・井口智(昇任)
▲漲水学園 管理課長・仲間貞教(宮古厚生園)
主査・友利勝政(昇任)
▲北嶺学園 園長・金城正一(昇任)...

- ▲宮古厚生園 園長・平良洋治(昇任) 副園長兼庶務課長・与那覇順子(昇任)
兼生活指導員・奥原恵子(生活相談員)
生活相談員・上地万智子(職種変更)...

- ▲宮古厚生園 園長・平良洋治(昇任) 副園長兼庶務課長・与那覇順子(昇任)
兼生活指導員・奥原恵子(生活相談員)
生活相談員・上地万智子(職種変更)...

- ▲八重山厚生園 副園長兼庶務課長・新川優(沖繩療育園・昇任)
保護課長兼生活指導員・田島学(昇任)
生活相談員・奥間安洋(職種変更)

- 県への復職
事務局 石川 督(企画指導課長 伊波盛治(主査)
▲沖繩療育園 照屋寛哲(主任技師)
▲漲水学園 宮国憲祐(副園長兼管理課長)
真栄城徳雅(主査)
▲名護厚生園 宮里ますみ(看護師)
松田京子(看護師)
▲具志川厚生園 銘苅良光(園長)
▲宮古厚生園 上里隆盛(園長)
高良恵子(看護師)
友利稔(寮父)
恩河光子(寮母)
高良成美(寮母)
▲八重山厚生園 高濱克行(主任)
大浜通恵(看護師)
小波本とも子(看護師)
松原愛子(主任技師)

【第十八期理事の一部変更】
就任
理事長 呉 屋 清 徳
理事 邊士名 達 夫
元沖繩県社会福祉事業団施設長

【第一期評議員の一部変更】
就任
有銘 政勇 沖繩県福祉保健部福祉企画統括監
退任
稲福 恭雄 沖繩県福祉保健部医療技監

【合格おめでとう 介護支援専門員】
八重山厚生園 寮父 石垣 孝

【平成十七年度 機関誌刊行委員紹介】
編集委員(順不同)
委員長 奥平 弘一(事務局)
副委員長 竹田 陽一(事務局)
委員 知花 進(よみたん救護園)
田場 貴子(沖繩療育園)
上地たつ子(具志川厚生園)
小橋川博康(うるま婦人寮)
宮里 幸代(漲水学園)
下地 栄市(あけぼの学園)
新城 綾子(北嶺学園)
佐久本里子(都屋の里)
名嘉 悦子(いしみな救護園)
玉城 一利(名護厚生園)
島尻美和子(宮古厚生園)
奥間 安洋(八重山厚生園)
事務担当 崎原 盛俊(事務局)

事務担当
崎原 盛俊(事務局)